



東北関東大震災から Revival!

松島医療生活協同組合

発行 2011年4月5日
対策本部長 青井克夫 NO9

全国から支援で、各事業所が通常診療・営業に向けて一歩前進!

被災地特診日開設

医科は、毎週木曜日の午後、鳴瀬地区の組合員対象に待ち時間を少なくし、復興に時間をかけられるように「特別診療」を行います。送迎体制も整備します。

「こころのケア」支援

今回の震災で被災した職員を対象に、民医連からカウンセリング等専門医師数名がきます。なるせの郷で被災した職員だけでなく、希望者は青井専務に相談してください!

介護部門でヒヤリング

・復興再建に向けて職責者が全職員(パート含む)とヒヤリングを始めました。「こころのケア」が必要な職員が埋もれていないか? 「再建に向けての思い」を一人一人、聞き取り、復興再建方針案づくりに生かしていきます。

◎毎日 17:00 からの「支援者報告会」に参加可能な職員は参加しよう!

全国の仲間が地域行動で見て・聞いてきた「組合員・住民の様子・被災実態」を共有し、組合員とともに復興のバネにしよう!

「いい刺激を受けました!」

長野から支援に来てくれている訪問看護師さんに午前中 二件 訪問のお手伝いを してもらいました。訪問看護の話を キラキラとした目で 話しました。訪問看護師の仕事は 利用者さん 家族さんに 安心と技術を提供することだと キッパリと言い切った姿に この仕事が ホントに好きなんだと感じました。(ST岩渕所長)

組合員も復興に向けて全力!

今日(4/4)、改めて東名から野蒜、新町まで被災の後を見ました。津波の被害は甚大です。津波に流された私が見ても想像以上でした。「牛網の漁業をしている方は、船の修理をして再開に向けて動いている」この仕事が生き甲斐と話していました。確実に復興に向けて動いていました。(介護相談S 安部)

○「松島生協店が9時迄営業再開しています」→ 仕事帰りの買い物ができるよ!

利用者の対応に悩む!

・震災後、本格的なデイケアを再開しました。なるせの郷で被災した職員も必死で「笑顔をつくり」サービスを行っています。しかし、利用者からの「震災当日や被災した他の利用者の話題」に試行錯誤で取り組んでいます!

4/4月) 各事業所の状況

「医科」 → 午前 59 名、午後 15 名、形 4 名
「歯科」 → 23 名診察。避難所から 1 名受診
「訪問看護」 → 訪問件数 13 件
「デイケア」 → 利用者 14 名、車いす利用者 5 名
「ケアマネ」 → 月末・月初め業務に奮闘

絶対! 復興・再建するぞと!

●4月末まで、全日本民医連・医療福祉生協連から連日20名以上の体制で支援!